

ともえ



繁栄を
あなたと育てる
商工会議所



ハリストス正教会

No. 125

函館商工会議所報
1991 — 11月号



▲若林新体制スタート！
写真左から 若林会頭、高野・松本・小笠原・沼崎各副会頭

会 議 所 の 動 き

第二回臨時議員総会開催

副会頭、常議員など役員を選任

本所副会頭、専務理事などの役員を選出する、第二回臨時議員総会が、去る十月二十二日、本所において開催されました。

総会には、委任出席を含めて八十四人が出席、若林会頭が議長を務め、まず副会頭（四人）、専務理事の選任同意、常議員（三十三人）、監事（三人）選任の四件の人事案件について審議しました。まず、副会頭、専務理事については会頭が選任同意を求めた次の方々が満場一致で同意承認されました。

◎副会頭

高野 洋蔵 北海道水産製造(株)
松本 演之 (株)松本組

(以上再任)

小笠原金悦 (株)ティーオー小笠原
沼崎弥太郎 (株)南北海道電子計算

センター

(以上新任)

◎専務理事

平野 鶴男

(再任)

次に、常議員、監事の選任については一括して議題とし、五人の委員による選考委員会で選考することを決定、その結果、池見選考委員長より次の通りの選考結果の報告があり、総会でも満場一致で委員長報告の通り決定されました。選任された常議員、監事は次の方々です。

■常議員

荻野 清 (株)棒二森屋

東口 昭 (株)丸井今井函館支店

木村勝太郎 函館魚市場(株)

泉 清治 函館空港ビルディング(株)

大越 勝己 大一興業(株)

北村 實 (株)北村船具店

鈴木 武二 美鈴商事(株)

田中 仁 第二物産(株)

辻 才次郎 辻木材(株)

前側 内匠 前側石油(株)

棟方 忠 東栄(株)

飯田 貢一 ベンケイ綿(株)

黒田 憲治 (株)高木組

佐藤 亀吉 合同容器(株)函館工場

田島 久吉 北海道乳業(株)

柳沢 勝 (株)魚長食品

伴 文康 函館バス(株)

松崎 勉 函館三菱ふそう自動車販売(株)

中野 豊 五稜郭タワー(株)

西野 鷹志 函館山ロープウェイ(株)

近藤 純悦 函館木工品製作販売(株)

藤谷作太郎 兼藤漁業(株)

河村 澤治 函館トヨペット(株)

松本 栄一 ホンダメイト函館(株)

河内 孝夫 (株)湯の川プリンスホテル

山田 典夫 庭本産業(株)

若山徳次郎 (株)五島軒

(以上再任)

(以上再任)

(以上再任)

(以上再任)

川田 寛 日本化学飼料(株)
相馬 宏二 函館どつく(株)函館造船所

八田 俊男 (株)ニュールック

村瀬順一郎 (株)村瀬鉄工所

吉原 英吉 函館定温冷蔵(株)

青山 繁樹 北海道旅客鉄道(株)函館支社

(以上新任)

■ 監事

橋本 勝也 日本電信電話(株)函館支社 (再任)

(再任)

大童 偉之 東日本フェリー(株)

小林 敏夫 函館エヌ・デー・ケー(株) (以上新任)

引き続き、委員会の設置、および正副委員長、委員の選任が審議され、それぞれ原案どおり次のように決定しました。

(◎は委員長、○は副委員長)

▼ 総務委員会

◎飯田 貢一 ベンケイ綿(株)

◎松崎 勉 函館三菱ふそう自動車販売(株)

◎森川 基嗣 (株)森川組

◎中澤 眞一 (株)ニュー糸平

▼ 文教委員会

◎池見 厚一 (株)近藤商会

◎杉村 吉彦 (株)精養軒
◎松本 栄一 ホンダメイト函館(株)

◎村上 幸輝 一位物産(株)

▼ 情報対策委員会

◎森 迪康 函館信用金庫

◎山村 幸生 函館コンピュータ機器販売(株)

◎吉原 英吉 函館定温冷蔵(株)

◎鈴木 茂 日立北海セミコングクタ(株)

▼ 国際交流委員会(新設)

◎西野 鷹志 函館山ロープウェイ(株)

◎東口 昭 (株)丸井今井函館支店

◎西村 憲人 (株)花びしホテル

◎加藤健太郎 加藤組土建(株)

▼ 青函圏特別委員会

◎柳沢 勝 (株)魚長食品

◎泉 清治 函館空港ビルディング(株)

◎青山 繁樹 北海道旅客鉄道(株)函館支社

▼ 創立百年記念事業実行委員会

◎若林 利次

◎高野 洋蔵

◎松本 演之

◎ 小笠原金悦

◎ 沼崎弥太郎

本所六部会の正副部会長が決定

本所の六部会(商業・工業・農水産・運輸港湾・理財・観光サービス部会)は、去る十月二十五日から十一月一日までの間に開催され、それぞれ正・副部会長を次の通り選任しました。

(◎は部会長、○は副部会長)

▼ 商業部会

◎田中 仁 第二物産(株)

◎荻野 清 (株)棒二森屋

◎八田 俊男 (株)ニュールック

◎対馬 孝一 (株)ユニークシヨップつしま

▼ 工業部会

◎黒田 憲治 (株)高木組

◎鈴木 啓記 北海道日産化学(株)

◎倉崎 六利 真鉄工業(株)

◎吉田 恭平 北海道瓦斯(株)函館支社

▼ 農水産部会

◎木村勝太郎 函館魚市場(株)

◎田島 久吉 北海道乳業(株)
◎竹林勝三郎 竹林漁業(株)
◎石黒 義男 布目水産食品冷蔵(株)

▼ 運輸港湾部会

◎斎藤 鉄男 共栄運輸(株)

◎伴 文康 函館バス(株)

◎仲山 清二 日本通運(株)函館支店

▼ 理財部会

◎橋本 雅昌 (株)北海道拓殖銀行函館支店

◎大沼平八郎 (株)ジャックス

◎松崎 正幸 函館商工信用組合

▼ 観光サービス部会

◎河内 孝夫 (株)湯の川プリンホテル

◎小島 悦郎 小島商事(株)

◎名取 喜昭 (株)不二屋本店

◎近藤 章二 (株)函館ハーバービューホテル

北海道新幹線の着工 福岡直行便の就航を陳情

函館空港整備促進連絡協議会のメンバー九名(本所より若林会頭)が、去る十一月六日、八日に亘り東京と福岡を訪問し、函館―福岡間直行航空路線の開設について、運輸省航空局や全日空本社、福岡市など関係機関に陳情しました。

同路線については、全日空側でも来春に開設することを明らかにしておりますが、同路線の開設は、南北海道における観光振興、企業誘致、地場産業の活性化はもちろんのこと、東京、大阪中継の不便解消および利用者の利便性の向上や負担軽減等、計り知れない効果をもたらすものとして、その早期開設が大いに期待されております。

一方、新幹線現駅乗入れ促進期成会(十七団体加盟)は去る十一月六日、大角副会長(亀田商工会会長)を団長に一行六名が北海道始めJR北海道、鉄建公団札幌工事事務所等に北海道新幹線の早期着工を陳情しました。

これは、去る八月二十六日の総会で決議された「北海道新幹線の早期着工」「青函トンネルの有効活用のため、東北新幹線青森延長時には、当面函館までの同時開業」

本所三役と横路知事との朝食会開催 当地域の重要施策について懇談

去る十月二十五日、横路北海道知事の来函を機に、国際ホテルにおいて近藤渡島支庁長同席のもと、本所若林会頭、高野・沼崎両副会頭、平野専務理事との朝食会がもたれました。

懇談では、地元函館の経済状況等について、まず、若林会頭より説明がなされ、次いで第二期テクノポリス函館計画の策定、そして道立工業技術センターの拡充等の要望が出され、また、道南地域の発展の基盤ともなる北海道縦貫自動車道の函館側からの早期建設や北海道新幹線の着工についても強

「全道民一丸となった陳情要望の強力な推進」を受けて実施されたもので、陳情内容については十分理解され「何はともあれ新幹線をまず北海道へ、当面は函館まで青森と同時開業を」ということで意見が一致するなど、実りある陳情要望となりました。

い促進方の要望が出されました。

知事からは、地域のこれら重要な問題は、道の問題としても対応してきているし今後もやっつけていくという発言があり、また、水産加工の中心でもある函館からの業界の現状などについて知事より質問があり、高野副会頭より詳しい説明がなされました。

さらに知事からは、特に函館―ウラジオストクとの航空路については、道としても強力に推進していくとの考えが示されるなど、和やかなうちにも内容のある懇談を終了しました。

みなみ北海道 広域連絡協開催

トマム観光開発事例等学ぶ

南北海道地域の経済界唯一の連絡組織体として、地域の抱える様々な課題に取り組んでいる「みなみ北海道広域商工振興連絡協議会」の今年度第二回協議会が、去る十月十七日、乙部町の町民会館において開催されました。

当日は、道南の各商工会長ら三十名余りが出席し、来賓としてお招きした乙部町長寺島光一郎氏からは「元和台海浜公園・海のプールと海中探照船について」と題しての事例発表、また占冠村長観音信則氏からは「まちづくりとリゾート開発」と題し、観光地として急成長を遂げたトマム地区の観光開発に関する講話が行われました。

その後、道南圏域の抱える様々な課題とともに活発な意見交換が行われ、今後の地域活性化事業を推進する上で、大きな糧となる機会となりました。

函館商工会議所 議員・役員一覽表

会 頭 1人 副会 頭 4人 専務理事 1人
 監 事 3人 常 議 員 33人
 3号議員 15人 2号議員 35人 1号議員 50人

【注】○内数字は号別。アイウエオ順。



会 頭

函館製糖船員(株)
代表取締役社長
若 林 利 次 ③



常 議 員

函館空港ビルディング(株)
代表取締役専務
泉 清 治 ③



常 議 員

北海道パークネット工業(株)
代表取締役社長
井 村 守 俊 ①



監 事

日本電信電話(株)函館支店
支店長
橋 本 勝 也



副 会 頭

北海道水産製造(株)
代表取締役社長
高 野 洋 蔵 ②



常 議 員

キングハイヤー(株)
代表取締役会長
今 川 重 男 ①



常 議 員

ベンケイ綿(株)
代表取締役
飯 田 貢 一 ②



監 事

東日本フエリー(株)
常務取締役
犬 童 偉 之



副 会 頭

(株)松本組
取締役社長
松 本 演 之 ②



常 議 員

(株)テオー・スイミング
スクール代表取締役社長
小 笠 原 孝 ①



常 議 員

(株)近藤商会
代表取締役社長
池 見 厚 一 ①



監 事

函館工ヌ・デー・ケー(株)
取締役支配人
小 林 敏 夫



副 会 頭

(株)テオー・小笠原
代表取締役会長
小 笠 原 金 悦 ②



常 議 員

小鯉水産倉庫(株)
代表取締役社長
小 熊 勝 夫 ①



常 議 員

函館米穀(株)
代表取締役社長
石 上 伊 佐 男 ①



常 議 員

北海道輸出入協同組合
理事長
阿 部 文 男 ②



副 会 頭

(株)南北海道電子計算センター
代表取締役社長
沼 崎 弥 太 郎 ②



常 議 員

(株)マルカツ興産
代表取締役
大 桐 幸 右 工 門 ①



常 議 員

布日水産食品(株)
代表取締役社長
石 黒 義 男 ①



常 議 員

北海道旅客鉄道(株)函館支社
常務取締役函館支社長
青 山 繁 樹 ②



専 務 理 事

函館商工会議所

大一興業(株)
代表取締役
大越 勝 己②



常議員

関ジャックス
顧問
大沼 平八郎③



常議員

(株)樺一森屋
代表取締役社長
荻野 清③



常議員

(株)陶陶亭
代表取締役
加地 彦太郎①



常議員

加藤組土建(株)
代表取締役社長
加藤 健太郎②



常議員

(南)湯ノ浜
代表取締役
金道 太朗②



常議員

日本化学飼料(株)
代表取締役社長
川田 寛③



常議員

(株)湯の川プリンスホテル
代表取締役社長
河内 孝 夫①



常議員

函館トイペット(株)
代表取締役社長
河村 澤 治①



常議員

東一函館青果(株)
代表取締役社長
木戸 浦 辰 夫①



常議員

函館魚市場(株)
代表取締役社長
木村 勝太郎③



常議員

(株)北村船具店
代表取締役社長
北村 實②



常議員

真鉄工業(株)
代表取締役
倉崎 六 利①



常議員

(株)高木組
代表取締役社長
黒田 憲 治②



常議員

北海道電力(株)函館支店
理事支店長
黒田 正 夫③



(有)仲塚商事
代表取締役社長
小坂 昭 一①



小島商事(株)
代表取締役社長
小島 悦 郎①



函館木工品製作販売(有)
取締役社長
近藤 純 悦①



常議員

(株)函館ハーバービューホテル
代表取締役社長
近藤 章 二①



兼八水産(株)
代表取締役社長
近藤 忠 彦①



合同容器(株)函館工場
監査役
佐藤 亀 吉②



常議員

みかど(株)函館支店
支店長
佐藤 憲 司①



(株)二子口本社函館事務所
所長
佐藤 三之介③



共栄運輸(株)
代表取締役社長
斎藤 鉄 男①



(株)斉藤組
代表取締役社長
斉藤 八 郎①



白崎タイル工業(株)
代表取締役
白崎 憲司郎①



(株)菅原組
代表取締役
菅原 岩 夫①



(株)精養軒
取締役社長
杉村 吉 彦①



北海道日産化学(株)

代表取締役社長
鈴木啓記③



(株)湯の川グランドホテル

代表取締役社長
鈴木恵子②



日立北海セミコンダクタ(株)

取締役社長
鈴木茂②



美鈴商事(株)

取締役社長
鈴木武二②



函館じく(株)函館造船所

代表取締役副社長
相馬宏二③



北海道乳業(株)

取締役社長
田島久吉②



第二物産(株)

代表取締役社長
田中仁②



(株)北海道銀行函館支店

取締役支店長
高橋和彦③



(株)棒上武井漁業

代表取締役社長
武井忠徳①



竹林漁業(株)

代表取締役社長
竹林勝三郎①



函館ヤクルト販売(株)

代表取締役社長
谷口勢司①



函東工業(株)

代表取締役
津村英輔②



(株)ユニークショップつしま

代表取締役社長
対馬孝一①



辻木材(株)

代表取締役
辻才次郎②



(株)北洋銀行函館支店

取締役支店長
土井正①



(株)弘吉社

常務取締役
外崎静二①



丸下豊山食品(株)

代表取締役
豊山秋央①



(株)不二屋本店

代表取締役会長
名取喜昭①



(株)ユニース

代表取締役専務
中澤真一①



五稜郭タワー(株)

専務取締役
中野豊②



(株)若松屋衣装店

代表取締役
中野亮①



日本通運(株)函館支店

支店長
仲山清二③



(株)長門出版社

代表取締役
長門一也①



函館山口ブウェイ(株)

代表取締役社長
西野鷹志②



(株)花びしホテル

代表取締役社長
西村憲人②



(株)北海道拓殖銀行函館支店

取締役支店長
橋本雅昌③



(株)ニールック

代表取締役社長
八田俊男②



函館バス(株)

代表取締役社長
伴文康②



常議員

常議員

常議員

常議員

常議員

常議員

常議員

常議員

常議員

(株)丸井今井函館支店
常務取締役支店長



常議員

昭③

錦屋商事(株)
代表取締役社長



常議員

平形隆司②

函館旅館組合
会長



常議員

福田強①

兼藤漁業(株)
代表取締役社長



常議員

藤谷作太郎①

(有)和光ビル
代表取締役専務



常議員

細野清彦②

丸栄堀川紙器(株)
取締役社長



常議員

堀川昭雄①

前側石油(株)
取締役会長



常議員

前側内匠②

函館三菱心々自動車販売(株)
代表取締役会長



常議員

松崎勉②

函館商工信用組合
理事長



常議員

松崎正幸②

(有)錦蒸結本店
代表取締役社長



常議員

松橋保①

ホンタメイト函館(株)
代表取締役社長



常議員

松本栄一①

東栄(株)
代表取締役会長



常議員

棟方忠②

一位物産(株)
代表取締役社長



常議員

村上幸輝①

(株)村瀬鉄工所
取締役社長



常議員

村瀬順一郎②

函館信用金庫
理事長



常議員

森迪康①

(株)森川組
代表取締役社長



常議員

森川基嗣①

(株)西武北海道函館西武
取締役店長



常議員

八重樫和仁②

(株)魚長食品
代表取締役



常議員

柳沢勝②

庭本産業(株)
代表取締役社長



常議員

山田典夫①

函館コンピュータ機器販売(株)
代表取締役社長



常議員

山村幸生①

(株)ホテル函館ロイヤル
専務取締役



常議員

横山俊久①

北海道瓦斯(株)函館支社
常務取締役函館支社長



常議員

吉田恭平③

函館定温冷蔵(株)
代表取締役社長



常議員

吉原英吉②

(株)札幌銀行函館支店
支店長



常議員

吉原弘①

(株)道南食肉センター
代表取締役



常議員

吉村昭二①

(株)丸又和田商店
代表取締役社長



常議員

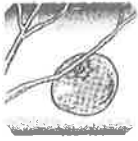
和田一明①

(株)五島軒
代表取締役会長



常議員

若山徳次郎①



事務局日誌

10月

*** 正副会頭会議**

11(金)・15(火) 正副会頭会議

*** 総会**

11(金) 第1回臨時議員総会

22(火) 第2回臨時議員総会

*** 部会**

28(月) 運輸港湾部会、観光サービス部会、商業部会

29(火) 農水産部会、工業部会

*** 会議(日商)**

7(月) 平成3年度全国商工会議所経理担当職員研修会

31(木) 商店街活性化実施計画策定事業中間報告会・懇談会

*** 会議(道商連)**

3(木) 第28回全道商工会議所女子職員研修会

*** 審査会**

1(火)・21(月) 小企業等経営改善資金の審査会

*** 諸会議**

1(火) 所報「ともえ」10月号 No.124編集会議

3(木) 新幹線現函館駅乗入れ促進期成会幹事会

4(金) 山形商工会議所産業廃棄物処理施設対策協議会視察団との懇談会

〃 '91 タックスフェア打合せ会

〃 日花商盛会商店街診断事前ヒアリング

5(土) ウラジオストック友好親善訪問実行委員会

〃 函館都心商店街近代化委員会第5回ワーキング部会

9(火) 全国観光土産品公正取引協議会「北海道函館大会」実行委員会

11(金) 函館都心商店街近代化委員会第6回ワーキング部会

12(土) 函館都心商店街近代化委員会第7回ワーキング部会

14(月) 第2回函館空港開港30周年記念事業実行委員会

15(火) 函館圏域内に支店等を有する道外企業の地元責任者との懇談会

16(水) 姫路商工会議所商業文化研究会との懇談会

〃 青函ツインシティ推進協議会平成3年度第1回部会

17(木) みなみ北海道広域商工振興連絡協議会平成3年度第2回協議会

18(金) 函館都心商店街近代化委員会第8回ワーキング部会

21(月) 本所婦人会と青森商工会議所婦人会との交流会

〃 '91 タックスフェア実行委員会

22(火) 平成3年度労働保険事務組合研修会

23(水) 函館都心商店街近代化委員会第9回ワーキング部会

〃 国際旅客需要開発説明会

24(木) 函館鉄工機械関連企業受注対策委員会

25(金) 本所三役と横路北海道知事との朝食懇談会

25(金) 第9回ナショナル・トラスト全国大会交歓会

28(月) 中小企業金融公庫井川総裁との昼食懇談会

〃 中小企業金融公庫函館出張所の支店昇格祝賀会

29(火) 函館市亀田商工会・銭亀沢商工会と本所との連絡会議

30(水) 所報「ともえ」11月号 No.125編集会議

〃 函館都市商店街近代化委員会第10回ワーキング部会

*** 講習・催物**

1(火)・4(金)・9(水)・11(金)・15(火) } 複式簿記講習会

18(金)・22(火)・25(金)・29(火)

7(月) 「水産業における近未来の変化」講演会(農水産部会)

9(水) 経営相談

25(金) 法律相談

29(火) 「労働災害の事例と労働保険の実務」講習会

〃 三井シンポジア「トゥモロウ函館」

*** 刊行物** 所報「ともえ」10月号 No.124

*** 相談・診断** 金融82 税務48 経理9 経営91 合計 230

*** 貸室** 15

*** 文書** 受信 222 発信 24

*** 検定**

2(火) 第19回2級販売士検定試験

6(日) 1・2級ワープロ検定試験

27(日) 4級ワープロ検定試験、第133回珠算能力検定試験

*** 陳情・要望**

12(土) 「トワイライト・エクスプレス」函館停車に関する要望

18(金) 本所と参議院商工委員会一行との昼食懇談会

*** 慶弔・その他**

1(火) 名鉄観光サービス(株)函館営業所移転開設披露

〃 (株)たくぎん総合研究所取締役社長川田晃氏表敬訪問

3(木) 函館洋菓子協会創立30周年記念式典・祝賀会

4(金) 全国いか加工業(協)臨時総会・講演会・懇親会

6(日) フラワーフェスティバル'91 in はこだて開会式

7(月) エアーニッポンとの懇談会

8(火) 本所創立記念日

9(水) 第14回おいでやす大京都まつり京都物産協会理事

福井義男氏一行表敬訪問

10(木) '91渡島ニューフロンティアフェスティバル開会式

11(金) 北海道税理士会函館支部創立35周年記念式典祝賀会

12(土) 平成3年度第3回GM会例会

〃 四共済受託会社第4回ゴルフ大会・懇親会

19(土) (株)レンタルテオー設立及び(株)函館小松常務取締役

小笠原潔氏就任披露

23(水) 函館繊維商組合清道会

〃 函館市内主要官公庁へ正副会頭就任挨拶

24(木) 函館日韓友好親善協会設立15周年記念祝賀会

〃 キャセイバシフィック航空函館・香港チャーターフライト記念祝賀会

25(金) 函館空港開港30周年記念式典・祝賀会

〃 (株)栄光商事創立35周年祝賀会



～ 書画骨董美術品(高砂通り) ～

中国風美術サロン
TEL 22-8152

盧山/日本一の古民具 高砂
TEL 22-8153

● 手数料無し、10回分割払い ●

～ 函館有名海産物・北海道名菓・民芸品 ～

函館航空商事売店

(株)陶陶亭商事

函館市若松町18-20

代表取締役 加地 彦太郎

TEL 22-8151(代)

たなか、建設筋の新規受注は民間建築工事主体に鈍化傾向を強めている。

(5) 農・漁業

農産物をみると、水稻の作柄は渡島が「甚だしい不良」、桧山が「かなり不良」となっている一方、その他作物は平年並みの作柄でほぼ収穫を終了。この間、野菜は本州産の不作から引合いが強まっており高値基調。

秋鮭定置網漁は、魚価安から水揚額が前年の7割程度にとどまっている。一方、近海真いか漁は太平洋側の水揚げ回復により全体の水揚額が前年を上回ったほか、真昆布も2月の低気圧通過の影響等で採取量は前年を大幅に下回ったが、品薄により取引価格は前年をかなり上回っている。

(6) 消費関連

9月中の市内大型小売店（10店）売上は、底堅い消費マインドに支えられ、秋物衣料品や食料品を中心に引続き順調な売れ行き。一方、耐久消費財をみると、自動車販売は高級車がまずまずの売れ行きを示しているものの、小型・大衆車の不振から9月の乗用車登録台数は引続き前年を下回った（前年対比 8.6%のマイナス）ほか、家電販売も総じて盛上

りに欠ける展開。この間、観光・レジャー面をみると、各観光・宿泊施設では前年を上回る入込みを記録、市内の観光バス会社もフル稼働を続けるなど秋口入り後の客足も好調に推移している。

3. 金融事情(9月中)

実質預金は、公金預金が交付金流入等から増加したものの、法・個人預金が大口定期等自由金利預金中心に引続き不冴え裡に推移したほか、前月末休日高止まり要因の剥落もみられたため、月中2億円増と前年の226億円増を大幅に下回る増加となった。また、貸出しも企業の借入圧縮の動きに加え、設備資金需要も盛上がりを欠き月中96億円増と前年の204億円増を下回る増加にとどまった。

この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、長・短期プライムレート引下げを映じ月中0.063%のマイナスで前月に引続き低下。

銀行券は、観光客の入込み増加に伴う行楽資金の順調な環流等を背景に、月中74億円の還収超となった（前年61億円）。

財政収支は、資金運用部地方貸しの回収や租税や保険の受入れを中心に、月中131億円の受超となった（前年116億円）。

P・R

今月は雇用保険さわやか受給月間です！

ルールを守って正しい受給を



雇用保険の失業給付は、労働者が失業した場合、その人の生活を安定させ、早期に再就職できるように支給されるものです。制度を正しく理解し、不正受給のないようご協力をお願いします。

失業給付を受けるには、失業の状態にあることが必要です。失業とは積極的に就職しようとする意思と、いつでも就職する能力があり、現在、仕事を探している状態にあることです。

たとえば、次のような人は失業給付の支給を受けられません！

- ・結婚して家事に専念する人・病気やケガですぐ就職出来ない人・定年などにより離職してしばらくの間休養する人
- ・妊娠、出産、育児等により就職することが出来ない人・会社の役員に就任している人・自営業を開始した場合
- ・家事の手伝いや家業に従事し、就職することが出来ない人・仕事についてた場合（アルバイト、パート含む）

お問い合わせは

ハローワーク函館〈函館公共職業安定所〉

☎26-0735へ



1. 概況

最近の管内景気をみると、建設と木材・木製品等の住宅投資関連が不芳裡に推移しているほか、乗用車と家電販売も前年割れが続いているが、企業の売上・生産は概ね底堅く、総じてみれば堅調を維持している。

すなわち、製造業ではセメントがフル生産を続行しているほか、電子部品も先行き需要に幾分翳りがみられるものの、足許の引合いは底堅くフル操業中。また、需要期入りの段ボール・乳製品や年末需要に向けた水産加工も繁忙裡に推移、造船や一般機械も豊富な受注残消化に注力している。一方、非製造業では、建設筋の受注残は依然高水準ながら、新規受注は住宅着工の落込み等民間建築工事を主体に鈍化傾向を強めている。これに対し個人消費は、乗用車や家電など一部の耐久消費財で依然前年を下回る販売が続いているものの、百貨店売上が秋物衣料品等を中心に底堅く推移しているほか、観光関連筋では秋口入り後も好調な入込みが続いている。

こうした状況下、最近の労働需給をみると、全体では依然引縮まり傾向が続いているものの、建設関連や木材・木製品の受注減少を映じ、一部に逼迫感の緩和がみられ始めている。

9月の金融動向をみると、預金・貸出しとも引続き不冴え裡に推移し前年を下回る増加。

管内銀行貸出し約定平均金利は長・短期プライムレート引下げを映じ前月に引続き低下。

2. 主要業種別動向

(1) 機械

電子部品は、米国における景気回復の遅れや、国内パソコン需要の伸び悩み等をながめ、先行き増産姿勢を幾分慎重化させる見込みながら、足許の引合いは底堅くフル生産を継続中。造船は、新造船建造に加え修繕船や陸上機械の受注が順調なことから高操業を持續。また、一般機械では国内外の需要が引続き堅調に推移するなか、豊富な受注残の消化に注力しており、高めの生産体制を維持している。

(2) 食料品

水産加工では、年末需要期入りを前に増産姿勢を強めている。この間、原魚高に伴う製品価格引上げを見越した問屋筋の早期手当から荷動きが活発化。また、乳製品は依然需給引縮まりの練乳等を中心に高操業を続行。一方、飼料・魚油は原料不足から引続き低調な生産を余儀なくされている。

(3) その他製造業

セメントは、道内建設向け需要が伸び悩んでいるものの、首都圏向け需要が依然好調に推移しておりフル生産を続けている。また、段ボールは出荷最盛期の馬鈴薯や本州野菜の不作を映じた大根やねぎ等の主力青果物向けで荷動きが活発化し高操業を続行。合板は足許厚物を主体に高水準の生産を継続しているものの、住宅着工の鈍化を受け需要は徐々に力強さを欠きつつある。一方、漁網は海外における流し網規制の強まり等を背景に引合いは依然として低調で生産を抑制している。

(4) 建設関連

市内における新設住宅着工が分譲マンションの落込みにより9ヶ月連続して前年割れとなっているものの、公共工事の発注額は前年を上回っている（管内主要5官庁の9月末発注額累計は前年対比2.7%のプラス）。こうし

【卸売業】

今期比D I 6.8、前年同期比D I 7.0と、前年同期比ではD I がマイナスを示している。

細業種でみても、今期比では増額を予想する業種が多くなっているが、逆に前年同期比ではやや厳しい見方をする業種が多く、特に建築材料業では今期比、前年同期比ともにD I がマイナスを示している。

【小売業】

今期比D I 6.0、前年同期比△2.0と、いずれもD I が若干マイナスを示し、やや業績悪化を予想している。

細業種でみると、衣服・身の回り品販売業は増額を見込んでいるが、他の業種は総じて横ばいまたは減額を予想しており、特に飲食料品販売業では今期比、前年同期比ともにD I がマイナスを示している。

【サービス業】

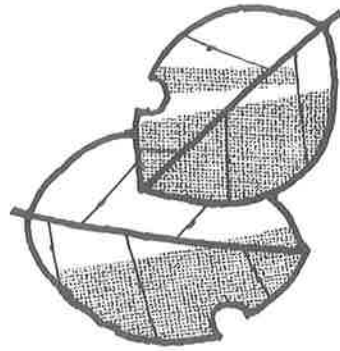
今期比D I △16.7、前年同期比△4.2と、いずれもD I がマイナスを示している。

細業種でみると、クリーニング・理美容業が今期比、前年同期比ともにD I がプラスを示し、業績好転を見込んでいるが、季節的要因などからホテル・旅館業を中心に横ばいまたは減額が見込まれる。

3. 資金繰りについて

来期の資金繰りについては、全業種で今期に比べ「好転」とみる企業3.5%に対し、「悪化」とみる企業11.0%でD I は△7.5とマイナスを示しているが、「変わらない」とする企業が85.5%を占め、ほぼ今期並に推移される見通しとなっている。

これを業種別にみると、建設業D I 0.0、製造業D I △7.3、卸売業D I △9.1、小売業D I △6.2、サービス業D I △12.5を示しているが、各業種とも7割以上の企業が「変わらない」と回答している。



本調査に関するお問い合わせは、振興課 (☎23-1181・内線52)へ

統計資料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高 (10店) 平成3年9月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	3,085,379	126.0	105.9
身回品	667,586	108.8	100.7
雑貨	736,270	97.0	105.5
家庭用品	745,324	106.4	107.1
食料品	1,682,138	78.4	102.4
食堂・喫茶	156,407	78.8	100.4
サービス	114,861	111.3	76.7
その他	451,294	87.7	97.4
総計	7,639,259	102.1	103.5

※10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店をいう。

5. 経営上の問題点

今期最も苦慮している経営上の問題点としては、「求人難・人材難」をあげる企業が全業種で26.5%とトップを占め、次いで「人件費の増加」が17.7%となっている。

次に問題点を業種別にみると、建設業では「景気の見通し難」28.5%、「求人難」23.8%、「労務費の増加」19.0%、「受注の不振」14.3%。製造業では「人件費等経費の増加」25.5%、「求人難」18.6%、「原材料高」16.3%、「売上・受注の不振」11.6%。

卸売業では「売上・受注の不振」22.3%、「求人難・人材難」15.6%、「人件費の増加」・「流通経費の増加」がそれぞれ13.3%。

小売業では「求人難・人材難」32.8%、「売上の不振」18.4%、「純利益の減少」14.3%、「人件費の増加」12.2%。

サービス業では「求人難・人材難」52.3%、「人件費の増加」21.7%、「営業経費の増加」・「同業者の競合」がそれぞれ13.0%等となっている。

今 期：3年7月～9月実績
前年同期：2年10月～12月実績

来期（10月～12月）の見通し

1. 業況について

函館地域企業の来期業況見通しを全業種でみると、今期に比べ「好転」するとみる企業13.5%に対し、「横ばい」企業64.9%、「悪化」するとみる企業21.6%でD Iは△8.1とマイナス、また前年同期比でも「好転」するとみる企業8.2%に対し、「悪化」するとみる企業が18.1%でD Iは△9.9とマイナスを示し、若干悪化が見込まれる。

業種別にみると、今期比では建設業D I△

図-5 来期の業況（対前年同期比）

(D. I)	好転	横ばい	悪化
全業種 (-9.9)	8.2	73.7	18.1
建設業 (-19.1)	9.5	61.9	28.6
製造業 (0.0)	9.3	81.4	9.3
卸売業 (-25.0)	2.3	70.4	27.3
小売業 (-4.0)	14.0	68.0	18.0
サービス業 (-4.1)	4.2	87.5	8.3

23.8、製造業D I 6.9、卸売業D I△10.8、小売業D I△6.0、サービス業D I△20.9と、製造業以外はD Iがすべてマイナスを示し、また前年同期比でも製造業（D I 0.0）以外はすべてD Iがマイナスを示していることから、来期業況見通しは夏場の反動等により観光関係でやや厳しい見方をしているのをはじめ、総じて低調が見込まれる。

2. 売上額について

来期の売上見通しを全業種でみると、今期に比べ「増加」するとみる企業22.0%に対し、「横ばい」企業58.8%、「減少」するとみる企業19.2%でD Iは2.8と若干プラスを示し、また前年同期比では「増加」企業14.2%に対し、「横ばい」企業68.8%、「減少」企業17.0%でD Iは△2.8と若干マイナスを示すなど、ほぼ横ばい状態を予想している。

図-6 来期の売上見通し（対前年同期比）

(D. I)	増加	横ばい	減少
全業種 (-2.8)	14.2	68.8	17.0
建設業 (-18.7)	6.3	68.7	25.0
製造業 (7.0)	14.0	79.0	7.0
卸売業 (-7.0)	18.6	55.8	25.6
小売業 (-2.0)	16.0	66.0	18.0
サービス業 (-4.2)	8.3	79.2	12.5

次に来期の売上見通しを業種別にみると、

【建設業】

今期比D I 12.5、前年同期比D I△18.7と、今期比ではD Iがプラスを示し、増額が見込まれる。

細業種でも、職別工事業と設備工事業が今期比では増額を予想している。

【製造業】

今期比D I 16.3、前年同期比D I 7.0と、いずれもD Iがプラスを示し、操業度の引き上げが予想される。

細業種でみると、受注が低調な漁網業と木製品・家具業では厳しい見方をしているが、年末需要期を迎える水産加工業や飲食料品業では今期比、前年同期比ともにD Iがプラスを示し、生産活動の活発化が見込まれる。

次に売上額を業種別にみると、

【建設業】

今期の工事完成額は、前期比D I $\Delta 9.6$ 、前年同期比D I $\Delta 9.6$ と、いずれもD Iがマイナスを示している。

細業種でみても、設備工事業は横ばいであるが、総合工事業と職別工事業ではいずれも減額基調で推移している。

このように今期の建設業界は、公共事業が順調ながら、回復がみられない住宅需要の落ち込み等により売上が伸び悩んでいる。

【製造業】

今期の生産額は、前期比D I 31.2、前年同期比D I 25.0と、いずれもD Iがプラスを示し、生産活動は高水準を維持している。

細業種でみても、総じて生産活動は活発化しており、特に水産加工業、飲食料品業、木製品・家具業、造船業では前期比、前年同期比ともにD Iがプラスを示し、増産体制を敷いている。

【卸売業】

今期の売上額は、前期比D I 19.5、前年同期比D I 8.7と、いずれもD Iがプラスを示し、荷動きが活発化している。

細業種でみると、織物 衣服・身の回り品業が厳しい見方をしており、他は総じて上向いており、特に医薬品・化粧品業、一般機械器具業では前期比、前年同期比ともにD Iがプラスを示している。

【小売業】

今期の売上額は、前期比D I 2.0、前年同期比4.0と、いずれも小幅ながらD Iがプラスを示し、堅調な伸びを示している。

細業種でみると、自動車販売業が前期比、前年同期比ともにD Iがマイナスを示しているが、逆に衣服・身の回り品販売業、飲食料品販売業ではいずれもD Iがプラスを示し、売上を伸ばしている。

【サービス業】

今期の売上額は、前期比D I 58.4、前年同期比D I 56.6とプラスを示し、いずれも6割を超える企業が「増加」と回答し、高実績で推移している。

細業種でみても、自動車整備業が横ばいである以外は総じて増額基調にあり、特に活況を呈す観光関係では、シーズンを迎えています上向いており、ホテル・旅館業では9割

を超える企業が「増加」と回答している。

図-3 今期の純利益 (対前年同期比)

(D.I)	増加	横ばい	減少
全業種 (-10.6)	19.3	50.8	29.9
建設業 (-19.0)	4.8	71.4	23.8
製造業 (-6.5)	17.4	58.7	23.9
卸売業 (-19.6)	15.2	50.0	34.8
小売業 (-21.6)	19.6	39.2	41.2
サービス業 (30.5)	43.5	43.5	13.0

3. 純利益について

今期の純利益を全業種でみると、前期に比べて「増加」している企業20.9%に対して、「横ばい」企業54.5%、「減少」している企業24.6%でD Iは $\Delta 3.7$ 、前年同期比でも「減少」企業29.9%が、「増加」企業19.3%を上回ってD Iは $\Delta 10.6$ と、いずれもマイナスを示し、採算面では悪化気味に推移している。

業種別にみても、サービス業が前期比、前年同期比ともにD Iがプラスを示して増益基調を維持している以外は総じて悪化している。

4. 資金繰りについて

今期の資金繰りを全業種でみると、前期に比べ「好転」した企業8.4%に対し、「悪化」した企業10.7%でD Iは $\Delta 2.3$ とマイナスを示しているが、「変わらない」とする企業が80.9%を占め、ほぼ前期並に推移した。

図-4 今期の資金繰り (対前期比)

(D.I)	好転	横ばい	悪化
全業種 (-2.3)	8.4	80.9	10.7
建設業 (-5.0)	5.0	85.0	10.0
製造業 (-4.7)	4.8	85.7	9.5
卸売業 (-6.8)	9.1	75.0	15.9
小売業 (-4.1)	6.1	83.7	10.2
サービス業 (17.4)	21.7	74.0	4.3

業種別にみても、D Iが若干マイナスを示す業種は多いが、いずれも大半の企業が「変わらない」と回答している。